

# ワクチンのあれこれ

4 月といえば、新しく犬猫を飼い始める方も多く、狂犬病やフィラリア予防も始まるため、動物病院では 1 年で一番忙しいワクチンシーズンとなります。

そこで今回は意外と“??”になりがちな伝染病混合ワクチンに含まれる病気の種類をご紹介します。(当院で取り扱いがあるもののみ)

### ～犬～ (6 種・8 種混合ワクチン)

- ・犬ジステンパー } 高い熱、嘔吐、下痢。特に子犬で重症化。
- ・犬伝染性肝炎 } 高い熱、嘔吐、下痢。特に子犬で重症化。
- ・犬伝染性喉頭気管炎 } いわゆる「犬の風邪」のような症状(咳、鼻汁、発熱など)
- ・犬パラインフルエンザ } いわゆる「犬の風邪」のような症状(咳、鼻汁、発熱など)
- ・犬パルボウイルス感染症 } 主な症状は下痢、嘔吐。特に子犬で重症化
- ・犬コロナウイルス感染症 } 主な症状は下痢、嘔吐。特に子犬で重症化
- ・犬レプトスピラ感染症：腎炎と肝炎を起こす。人にも感染することがある。(当院では 8 種のみ)



### ～猫～ (3 種・6 種混合ワクチン・猫エイズ)

- ・猫ウイルス性鼻気管炎(ヘルペスウイルス) } 猫カゼの原因。主な症状は目ヤニ、鼻汁、
- ・猫カリシウイルス感染症(6 種には 3 株混合) } 口内炎、くしゃみ。
- ・猫汎白血球減少症(パルボウイルス)：免疫低下、激しい下痢を起こす。
- ・猫白血病ウイルス感染症(6 種のみ) } 一度かかると完治は不可能な上、徐々に免疫力を低下させ
- ・猫エイズ(単剤のみ) } ほとんどの子が短命で命を落としてしまう。



いずれも、特に幼若期に感染すると非常に致死率の高いものばかりです。初年度/追加接種で回数が異なりますので、ご不明な点はお近くのスタッフまでお願いします。 獣医師 山浦

### 《お知らせコーナー》

#### 7 月の休診日

3, 10, 17, 22, 24, 31 日

#### 午後休診日

1, 5, 8, 12, 15, 16, 19, 26, 29 日

#### 院長不在日

11, 14, 15, 16, 29 日

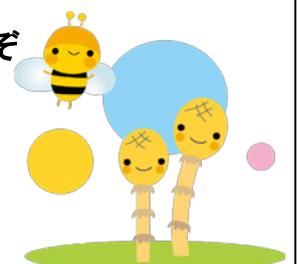
pm のみ不在：13 日

眼科専門診療日(予約制)：19 日



ホームページ <http://www.sakura-komoro.jp>

携帯サイトはこちらからどうぞ



# 眼科専門診療 スタートしました!

当院では今年2月より、月に1回眼科専門医を招き、眼科専門診療を始めました。

診察方法としてはまず一般診療を受けていただき、眼科専門診療を希望もしくは必要と判断した場合に予約診療のみで受付けています。



眼科専門医としては、東京から小林 一郎先生(どうぶつ眼科 Eye Vet)をお招きし、診察を行っていきます。

なお、眼科専門診療日でも勤務医での一般診療は通常通り行っていきますので、これからもよろしくお願ひします。※その日は院長診察はありません。

## 食べていい? 食べちゃダメ? ○×クイズ

### 【問題】

- ①玉ねぎは火を通してあれば食べてもよい。
- ②ダイエットの為、いつものフードにかさ増しとしてキャベツをあげる。
- ③おやつに、ぶどうをあげる。



### 【答え】

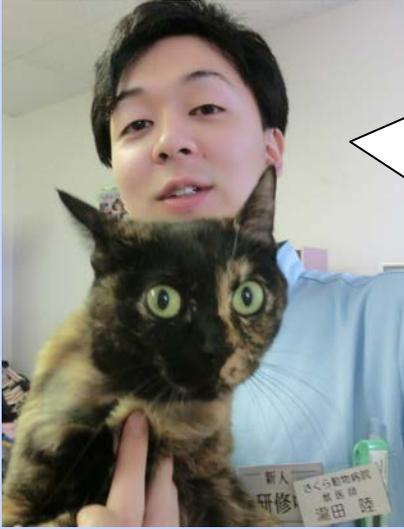
- ①×・・・玉ねぎに含まれる成分が血液を壊し、急性の貧血や血尿などを起こし、死に至ることもあります。火を通して成分は壊れないので、玉ねぎの入った味噌汁などもあげないようにしましょう。  
(症状には個体差があります)
- ②○・・・健康なわんちゃんであれば与えても大丈夫です。大量摂取により便がゆるくなる子もいるので与える量には注意しましょう。
- ③×・・・大量摂取で急性腎不全が発症し、最悪の場合は死に至ることもあります。

いかがでしたか? 今回挙げたもの以外にも注意しなければならない食べ物はまだまだあります。食べさせていいのか迷ったら、まずは獣医師に相談してください☆

看護師 富田



# 新人紹介コーナー



はじめまして。この春からさくら動物病院で働かせていただいている獣医師の瀧田陸です。体を動かすことが好きなので、小諸でも何か始められないか、模索中です。未熟な点は笑顔と元気で補って、少しでも早く一人前の獣医師になれるように頑張りますので、宜しくお願いします。



春からさくら動物病院で働くことになりました。動物看護師の井出冴美です。まだ新人なので至らない点もあると思いますが、動物たちや飼い主さま、スタッフの皆さまの力になれるよう笑顔を絶やさず頑張ります！ よろしくお願いします！



初めまして。3/21に入社しました、クリーンスタッフの佐竹と申します。まだ慣れないため戸惑っておりますが、明るい職場、きれいな病院を目指して頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

## 猫のしつけ

ねこは絶対的な順位がなく、服従性がないためしつけることは非常に困難です。ある状況で飼い主が優位に立って叱っても、その場限りでまた同じことを繰り返します。子ねこの段階であれば、盲目的に母に従うので比較的しつけがうまくことがあります。

ねこにとって重要なのは楽しくて安全かどうかであり、自分自身の身に危険を感じない限りやりたいことをします。

飼い主が口うるさくしつけようとしても、ねこにとってはその行動が悪いとは理解せず、飼い主が自分を嫌っていると理解します。

結果として飼い主との関係を悪くさせてしまうことになりかねません。

**「初めからねこはしつけられないもの」と認識しておきましょう。**

人間の赤ちゃんがハイハイを始めたくらいの感じで、接してください。

それでもお互いに快適に生活するための方法は、

まず、

- ① 猫の生活に人間が合わせる。
- ② 猫に触られては困る物を置かない。又は可能なら猫専用の部屋を作る。
- ③ トイレ砂はいつもきれいにしておいて他で排尿しないようにする。
- ④ 避妊去勢をしてマーキングや無駄鳴きの対策。
- ⑤ 爪研ぎ棒を用意して家具が傷つかないようにする。

猫は自由にしてこそ本来の生き方です、その姿をみて人間は心癒されますよね。

院長

### 編集後記

今年もあっという間に春が来ました。

この1年の間に我が家の小桜インコの「ちい」が卵を産み、4つの卵のうち2羽の子が無事成長しました。冬のことだったので卵づまりが心配でしたが、母子共に元気に鳴いて寝ている私を起こしてくれます。

病院も私も、色々な意味で成長し続けることが出来るよう、今年度も頑張ります。

どんな1年になるか、楽しみです。

獣医師 山浦

